



濃南小学校・中学校

歴史 これより始まる ～ 濃南は一つ ～

これまで濃南小学校、濃南中学校では、隣接する校舎を生かした行事や、異年齢の児童生徒が交わることで豊かな心を育てることなど、お互いが連絡を取り合い、教育活動を進めてきました。ふるさと濃南を愛し、この地で育ったことに誇りをもって将来を生き抜いていく力を小・中学校で育てるために、今年度より「小・中一貫校」としてスタートしました。これまで取り組んできたことをベースとしながらも、さらに双方が力をあわせてできることを見直し、教科の指導も含めて工夫しています。具体的には、中学校の先生が、小学校の教科の授業を行う“小学校での教科担任制”を進めています。逆に、小学校の先生が中学生の指導にあたり、思春期の中学生に多様な見方や考え方が身につくよう、多くの職員でかかわっています。また、中学生が小学生と一緒に活動をする中で、お互いを尊重し、認め合える活動を積極的に進めています。その他、PTA活動の一本化や小・中合同の運動会・合唱祭など、濃南小・中ならではの活動となるよう新しい学校を目指しています。



小学生に読み聞かせをする中学生



「小・中団結運動会」でのエール交換



目指すは全国大会出場

う え だ る い
下石小学校6年 植田琉唯さん

4年生の時、第34回小学生陸上競技交流大会岐阜県予選会(800m)で優勝。5年生の時、第4回岐阜県小学生陸上競技選手権大会(800m)で優勝し、さらに土岐市を代表して出場した県駅伝大会では見事、区間賞を受賞。小学生の陸上大会で輝かしい成績を残しているのは、下石小学校6年生の植田琉唯さん。

4歳年上のお兄さんと一緒に2年生まではサッカークラブに通っていましたが、周りは男子ばかり。でも「走ることは好き」と、3年生から「土岐おりべ陸上クラブ」に入会しました。サッカーで鍛えていた体力もあり、3年生にして1000mのタイムが3分54秒。4年生の時、東濃大会で3分30秒の大会記録を樹立し、5年生の時には3分27秒まで伸びました。週に1回のクラブの練習に加え、土日にも2500mを走り込み、最近では5000mの長距離を走り続けて体力をつけています。

次の目標を中学生の大会で東海、全国大会へ進みたいと話し、向上心は十分。男子マラソンの大迫選手が日本記録をマークしたことに刺激を受け、「将来、私も大きな舞台で走りたい」と胸に秘めた大きな夢を語ってくれました。